

口腔機能管理科

(旧・高齢者歯科)



古屋 純一

昭和医科大学歯学部 口腔健康管理学講座
口腔機能管理学部門

医局の変遷

■第二歯科補綴学講座(1977):全部床義歯

↓ 25年

■高齢者歯科学講座(2002):高齢者歯科

↓ 21年

■口腔健康管理学講座 口腔機能管理学部門 (2023)

口腔機能管理科

★高齢者歯科は範囲が広い

→義歯と口腔機能で高齢期のライフステージ
にあわせた歯科治療と支援を提供

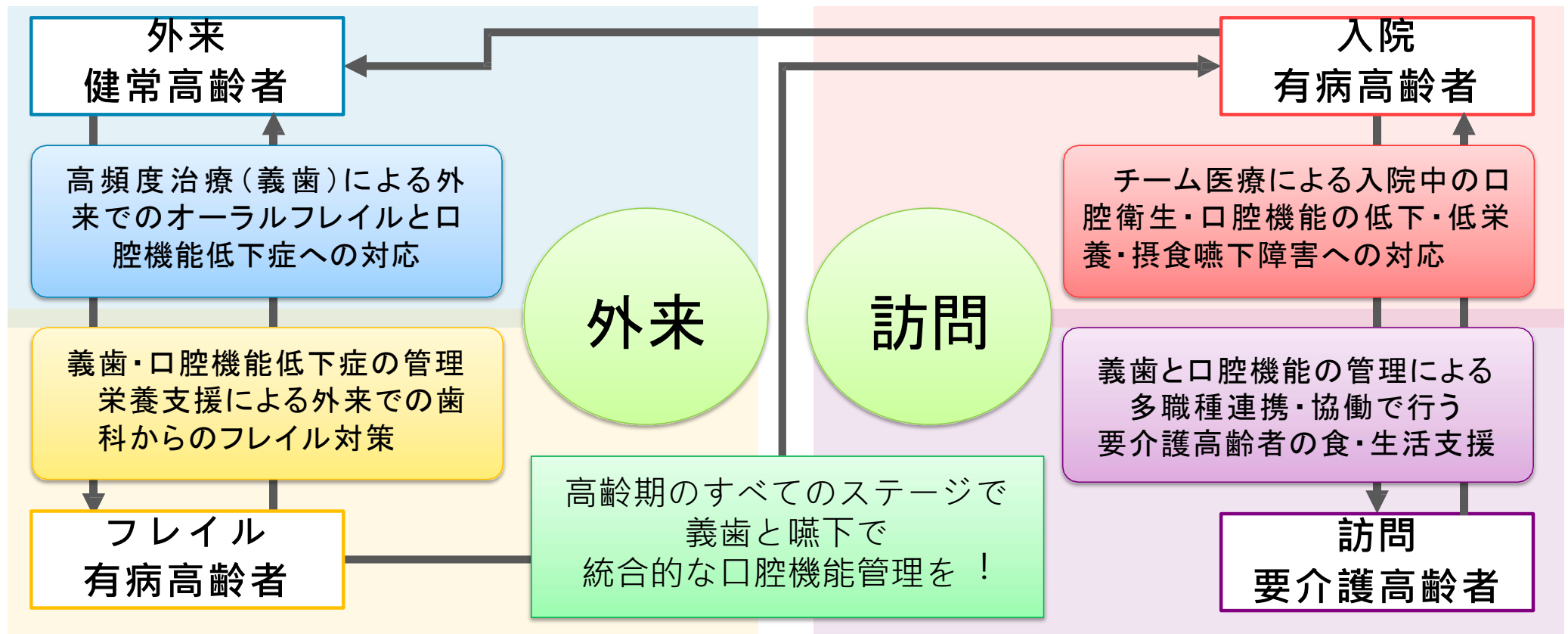


主任教授 古屋純一 紹介



- 専門：高齢者歯科学、全部床義歯補綴学、摂食嚥下リハビリテーション学
- 略歴：1996年 東京医科歯科大学歯学部卒業。同大学院高齢者歯科学修了後、岩手医科大学歯学部補綴学、ハーバード大学歯学部、東京医科歯科大学での教員生活を経て、2020年より昭和医科大学歯学部高齢者歯科学講座に入局。
- 2023年に、高齢者歯科学から口腔機能管理学に名称変更され、主任教授に昇任。
- 信念：「食べる楽しみいつまでも」：高齢期の食は複合的な問題があることが多いため、専門性をもちながらも、統合的な視点を大事にしている。
- 目指す医局：義歯と嚥下を専門に「変わらないことを大切に、変わり続ける臨床家集団
- 臨床：「元気なうちによい入れ歯」と「年をとってもおいしく食べる」の2つのストラテジーをかけた、外来だけでなく病院歯科や訪問診療で、多職種連携・協働による高齢期の口腔機能管理と食支援に注力している。
- 診療内容：高齢者の一般診療すべて（う蝕処置、歯周処置、エンド、抜歯、歯冠修復、欠損補綴、インプラント）を行うが、特に、全部床義歯など義歯による欠損補綴が多い。また、オーラルフレイルや口腔機能低下症の検査と管理、摂食嚥下障害への対応、入院患者の口腔ケアも行う。これらを高い専門性をもって実践し、統合させて診療を行う。

昭和医科大学歯学部口腔機能管理学部門（高齢者歯科）



①義歯治療と口腔機能管理で、多職種とともに、高齢者の健康・栄養・食べる楽しみを支援する

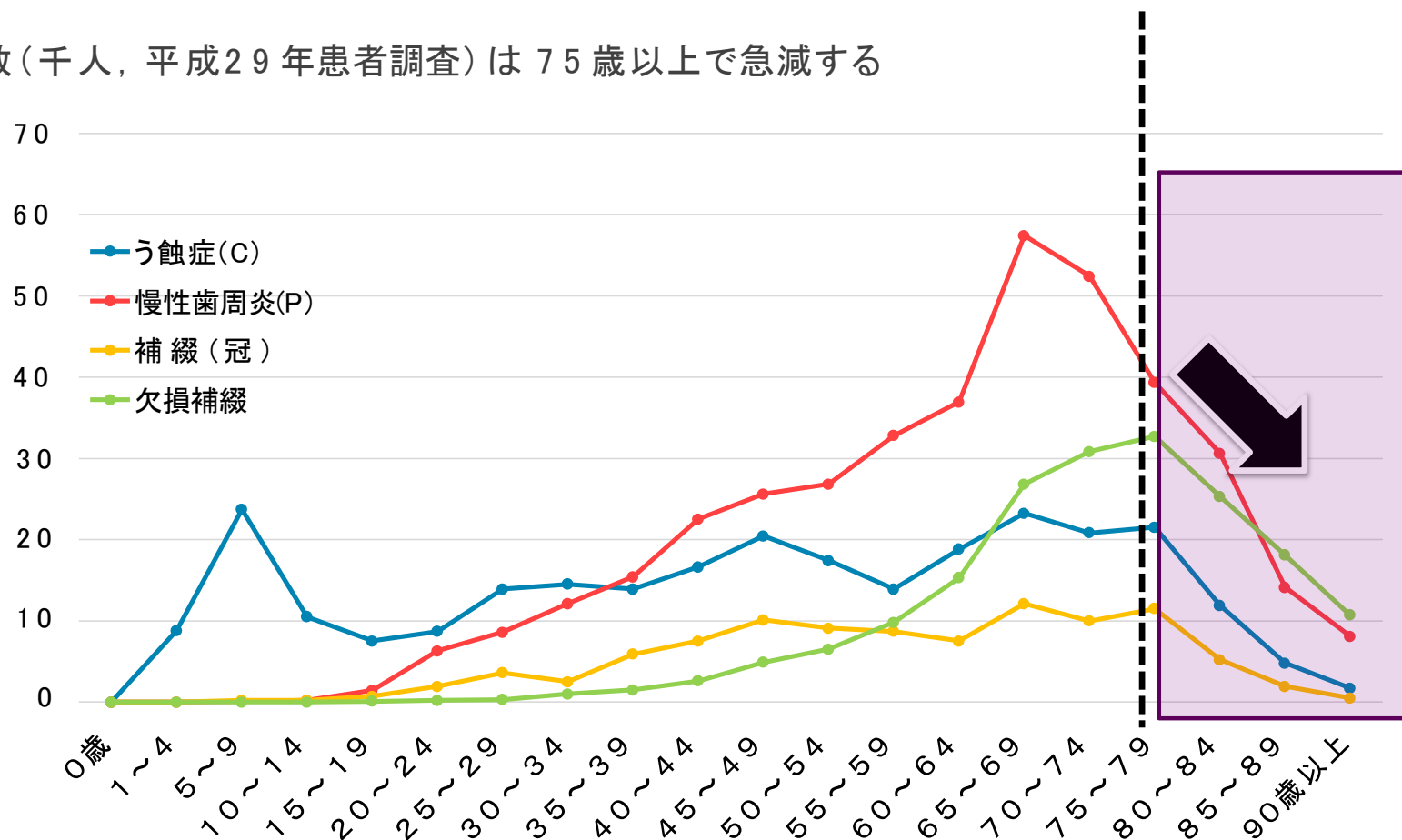
②変わらないこと(義歯)を大切に、口腔機能低下(嚥下)に対応し、高齢期の歯科医療をアップデートする



昭和医科大学
SHOWA Medical University

高齢期では歯科医院に行きたくても行けない人がいる

■ 推計患者数(千人, 平成29年患者調査)は75歳以上で急減する



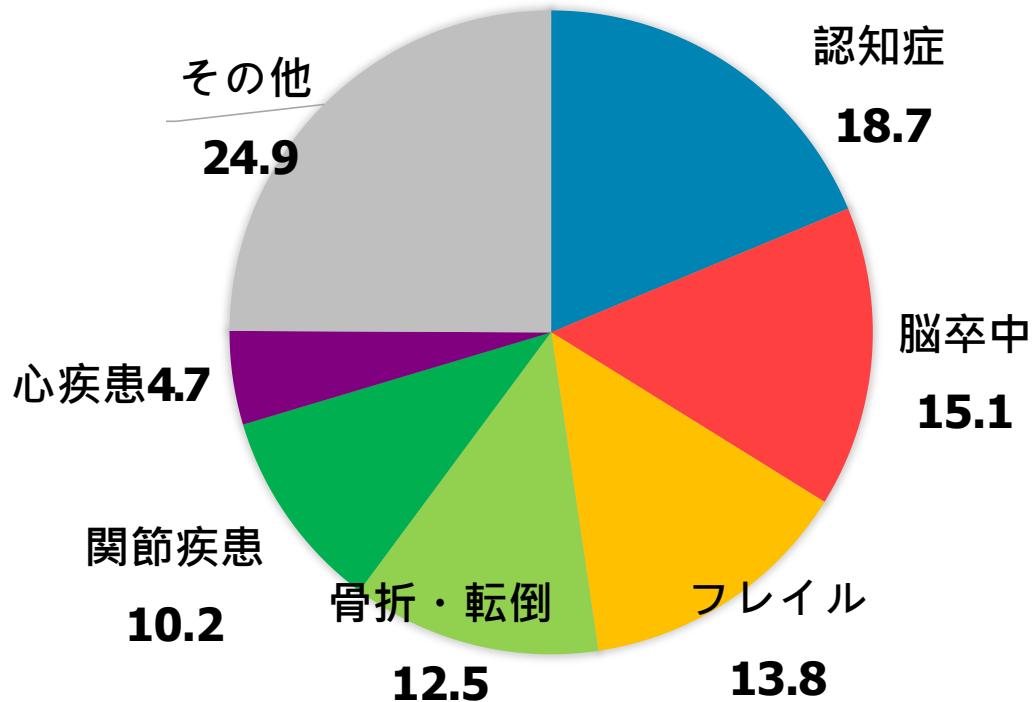
Ministry of Health, Labor and Welfare, Patient survey 2017



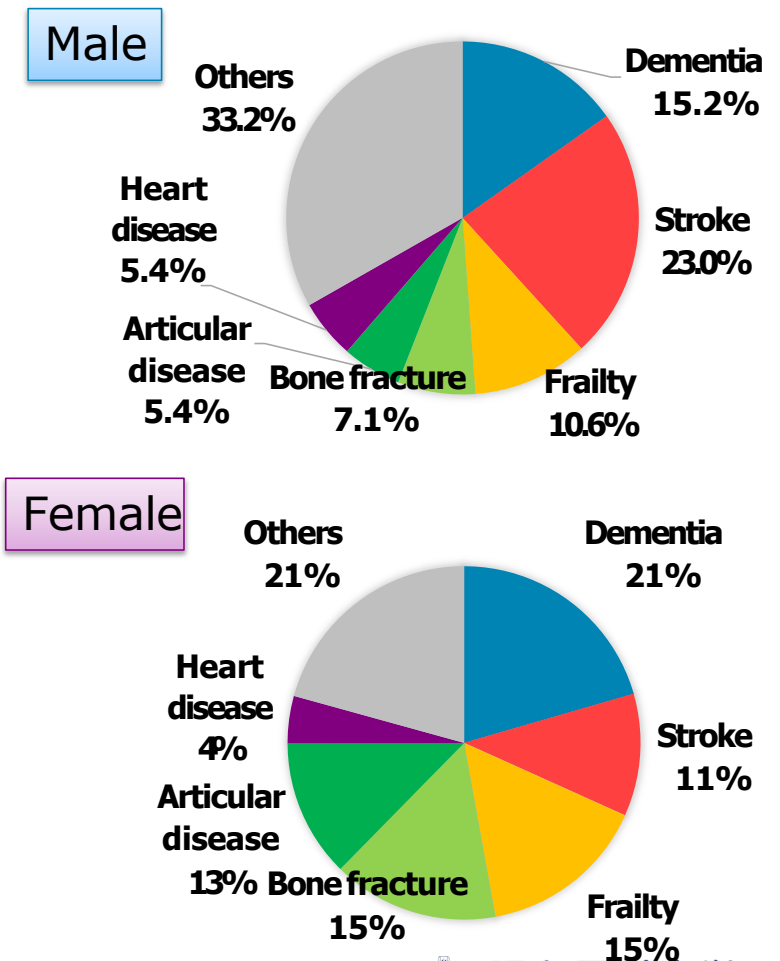
昭和医科大学
SHOWA Medical University

高齢者の要介護原因は食べる機能の原因疾患

■ 高齢期になると罹患する疾病の多くが口腔に問題を生じる

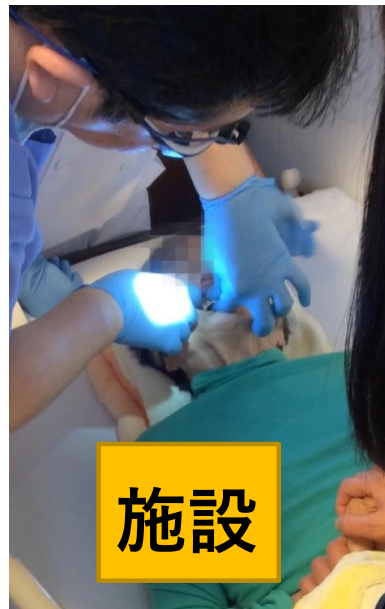


Annual report on the aging society 2020, Cabinet Office, Government of Japan



高齢者歯科 ≠ 高齢者の義歯治療

- 高齢期の医療・生活支援を“口腔機能管理”と“口腔衛生管理”を通じて行う
- 高齢者の特性に配慮した総合診療・専門診療
- ジェネラリストとしての歯科治療・スペシャリストとしての歯科治療

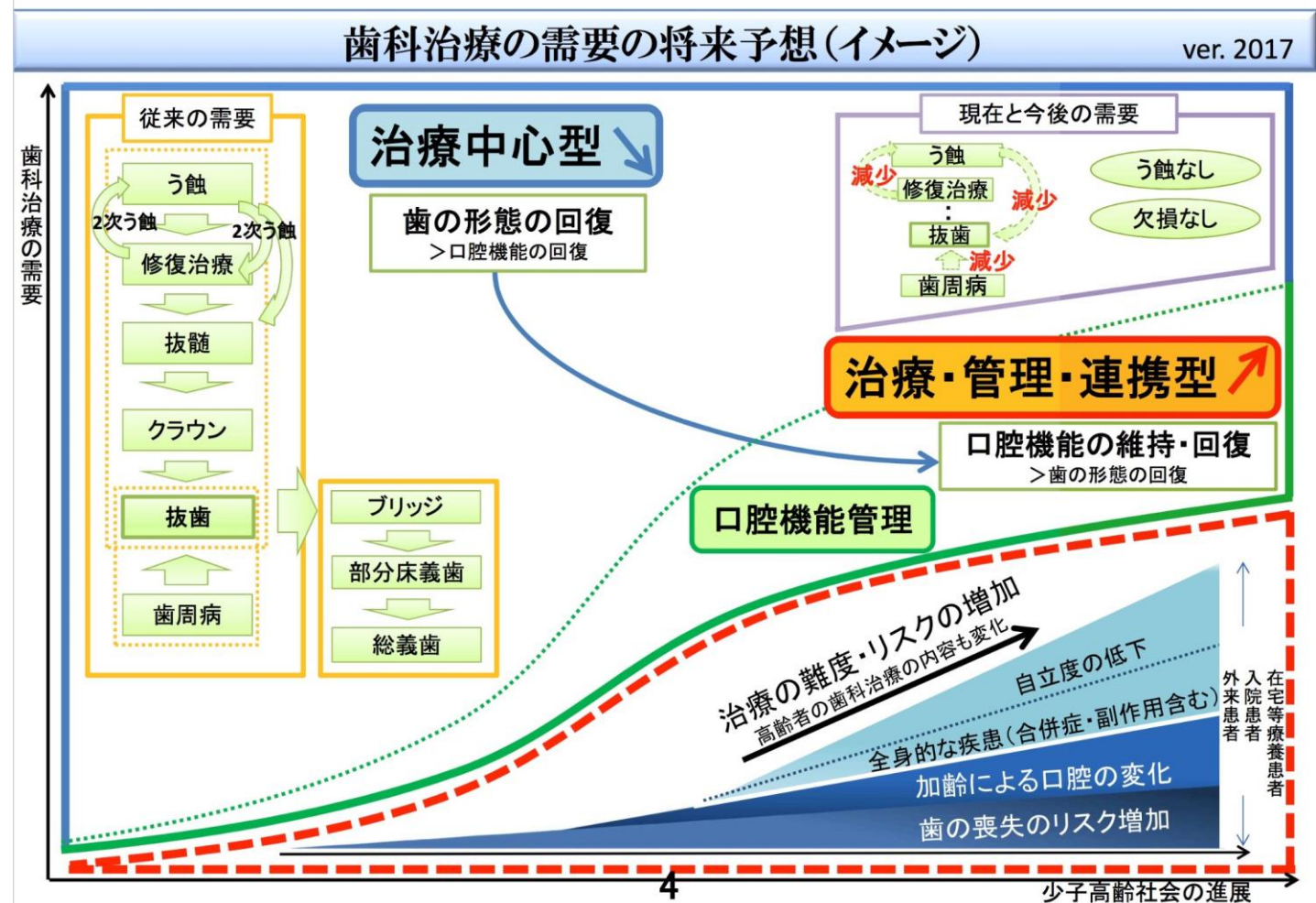


在宅歯科医療では
高齢者の
生命と生活の問題に
必ず出会う

求められる診療は幅広く、時に難易度が高い

厚生労働省 歯科治療の将来予測

- 歯の形態回復を行う治療中心型は減少
↓
- 口腔機能の管理を行う治療・管理・連携型が求められる
- マインドチェンジができるか？



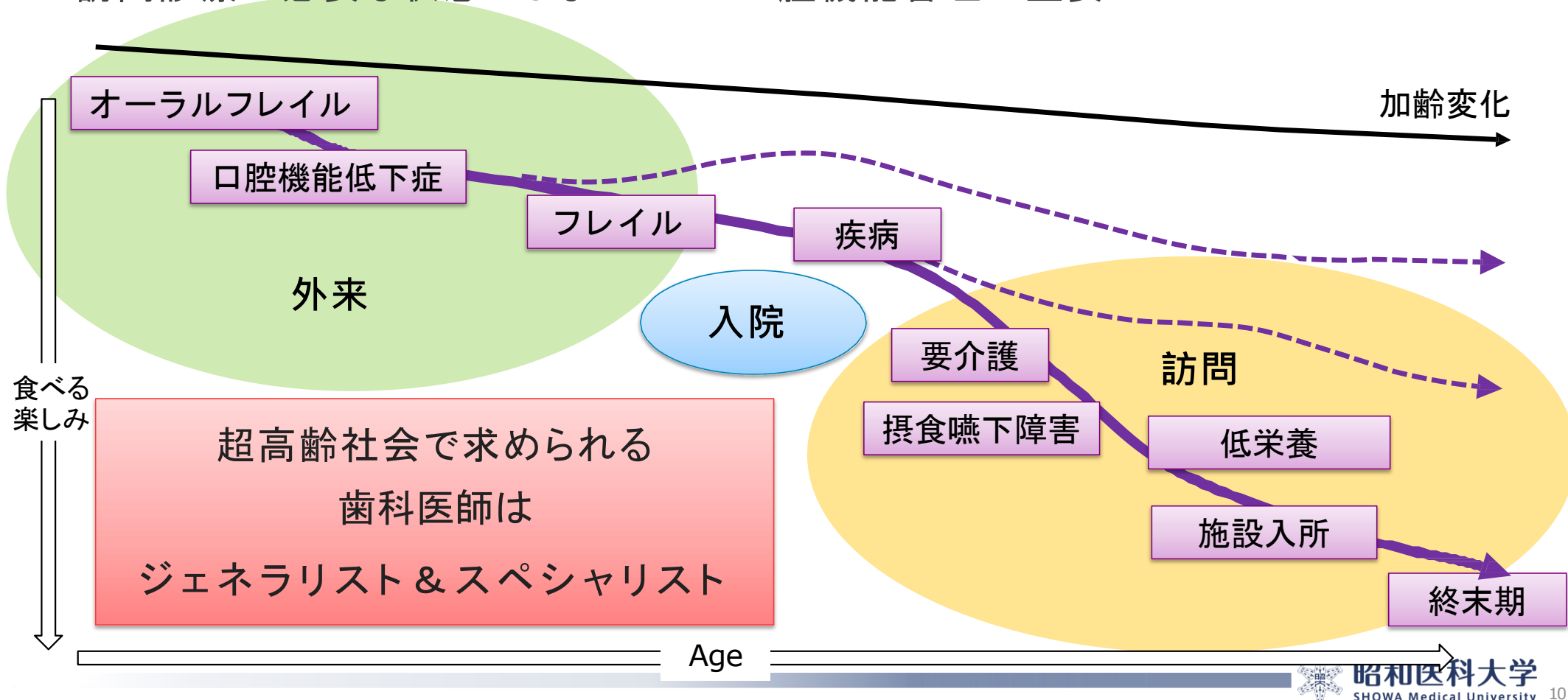
訪問診療の5割は義歯の問題！ 3割が口腔ケア、2割が嚥下

- 高齢期の生活支援を歯科として行う
- 訪問診療と往診の違い
 - ✓往診 ⇒緊急時に一時的に患者宅に出かける診療
 - ✓訪問 ⇒応急処置ではなく、定期的に訪問して行う計画にそった診療
- 高齢者の特性に配慮した総合的診療・専門診療
- 訪問診療の主訴の多くは “口から食べたい” or “義歯がないから食べれない”
- ジェネラリストとして食や口腔の問題を発見
- スペシャリストとして口腔機能の問題を解決する

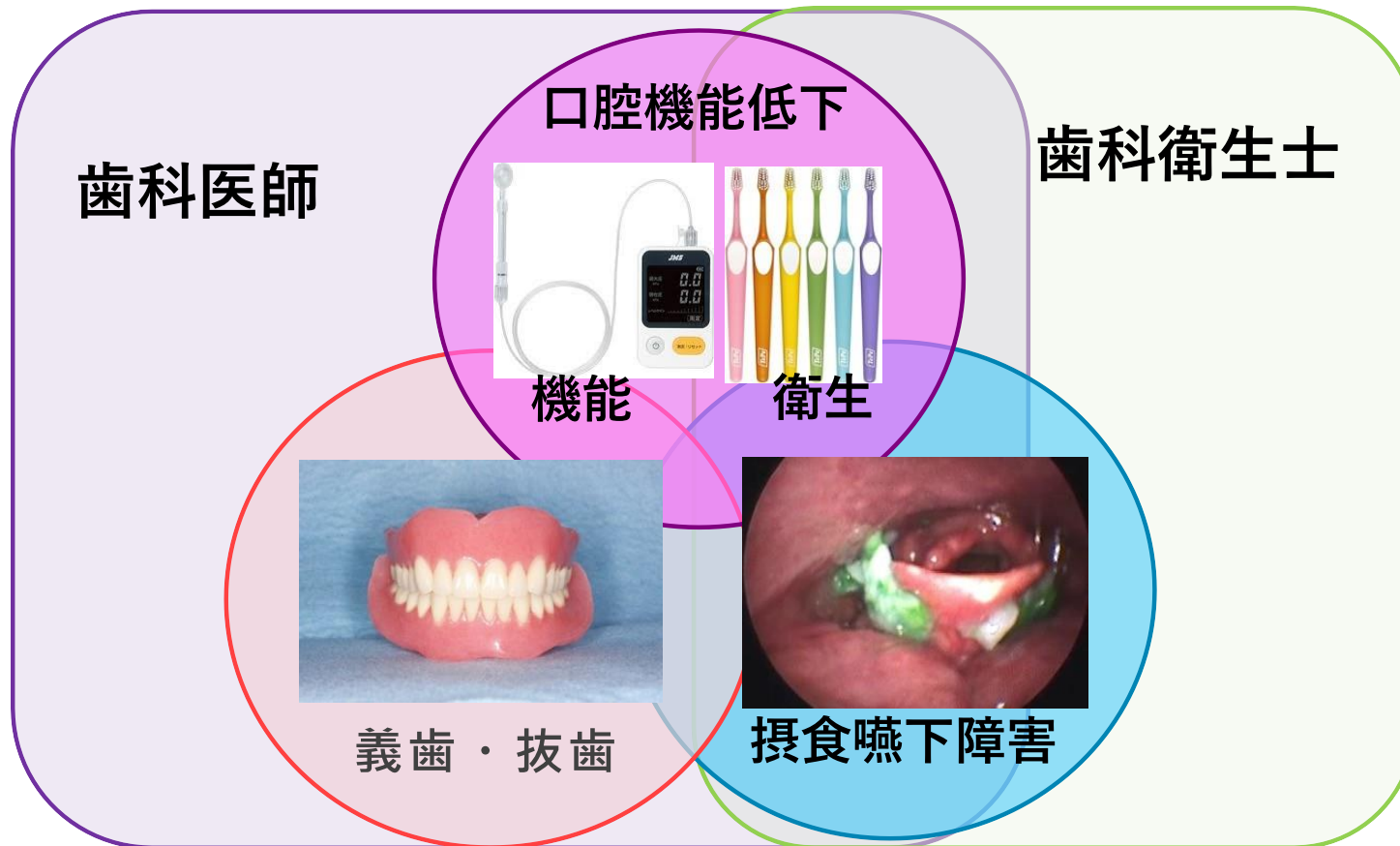
外来と訪問はひとつづき

どっちも知ってることが大事

- 訪問診療が必要な状態にしないこと＝口腔機能管理が重要



訪問・病院での多職種連携における歯科の役割



- 家族や訪問看護・介護が口腔ケアしやすくなるように
- 言語聴覚士が嚥下訓練しやすくなるように
- 患者が療養生活を楽しく送れるように
- 病期や環境にあわせて求められる役割に柔軟に変化させながら対応
- 義歯は歯科しかいじれない！

口腔機能管理科は「Generalist & Specialist」を学ぼう

外来

高齢期の義歯と一般診療
オーラルフレイル
口腔機能低下症
全身管理と栄養支援

病院

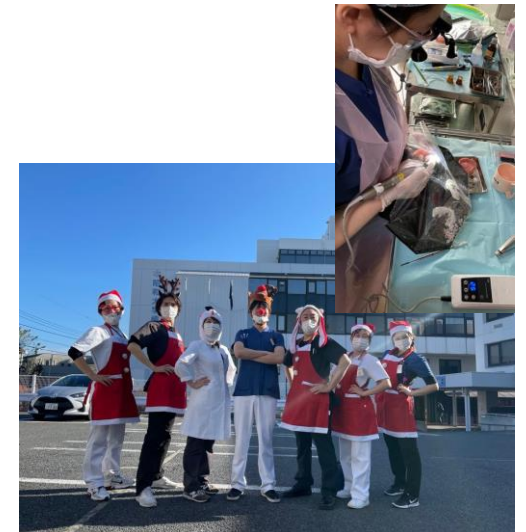
入院患者の口腔ケア
摂食嚥下障害
多職種連携
チーム医療

訪問

要介護高齢者の義歯
と一般診療
生活期の摂食嚥下障害
緩和ケア・食支援



高齡期の
義歯と口腔機能
Denture and Oral function



食べる楽しみいつまでも！

【口腔機能管理科】

診療科長 (古屋 純一)

高齢期のすべてのステージで食・生活を支える口腔機能管理を！

外来

高齢期の義歯
オーラルフレイル対策
口腔機能低下症の管理

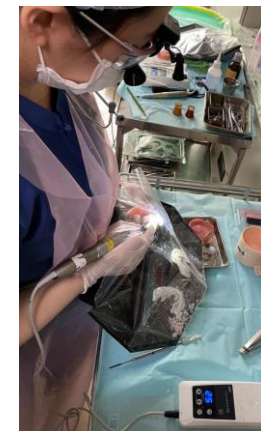


高齢期の 義歯と口腔機能

Denture and Oral function

訪問

要介護高齢者の義歯
統合的な口腔機能管理
義歯と嚥下で食支援



高齢期の食を支える2つの能力

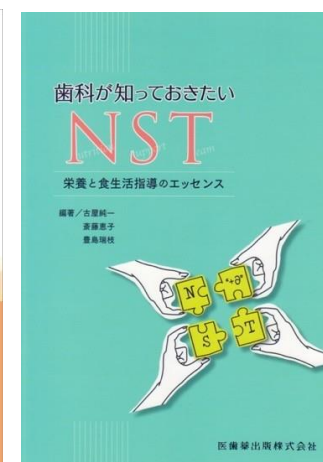
主任教授 古屋の本

■元気なうちによいデンチャー

- ✓圧倒的な義歯の能力で、口腔機能をできるだけ貯金！

■義歯と嚥下で食べる楽しみいつまでも！

- ✓口腔機能(咀嚼・嚥下)を上手に引き出し、病気になるってもおいしく食べる！



昭和医科大学
SHOWA Medical University